

株式会社Realize
代表取締役

池田 礼子さん



賃貸住宅管理業界と働きたい女性をつなぐマッチングサービスを展開

2022年設立、賃貸住宅管理業界と「働きたい」女性をつなぎ、雇用を生み出すマッチングサービスを展開する株式会社Realize。同社は、住宅設備トータルサポートのハートリビングサポート株式会社と、その事業に携わる協力会社の出資によって生まれた会社。入居前調査や鍵交換などの業務に女性を採用することで、業界の人材不足や働き方改革、女性活躍推進などの課題に取り組んでいる。トップの池田礼子さんにお話をうかがった。

文/石田 ゆう子 写真/田口 哲也

編集部 まずはハートリビングサポート株式会社に入社された経緯から聞かせてください。

池田 たまたま自宅の近くで経理の募集をしていたのを見かけて、元々経理をしていたので、じゃあ面接に行ってみようかと。それからずっと経理、財務、総務などのバックヤード系の仕事に携わっていました。次第にシステムや経理の件でお客様のところに行くことも増えてきて、財務経理をしながら営業的なサポートも担ってきました。

編集部 お客様というのは賃貸住宅管理会社や賃貸オーナーですか。

池田 はい。ハートリビングの事業としては、入居前点検のお手伝いなど、住宅設備のサポートやメンテナンスをさせていただいています。

営業の負担を軽減し女性の雇用を生み出す新たな会社を設立

編集部 株式会社Realizeを立ち上げたきっかけというのは？

池田 営業職の業務過多がきっかけです。住宅設備のメンテナンスの営業は売だけではなく、現場も見に行かなくてはいけない。そうした仕事が増え、個人の負担が大きくなっていった。なんとか営業が現場調査に行かなくてもいい仕組みが作れないか、そうした仕事をシステム化し、地元の人を雇用して任せられる会社があればいいのではないかと代表に相談したところ「じゃあ自分でやってみたら。サポートするから」といわれました。それでこの会社を立ち上げました。

以前から、福岡営業所では、地域の主婦の人たちが入居前点検の仕事で活

躍していたんですよ。その仕組みを全国展開できれば営業の業務は軽減できるし、地域の主婦の雇用も生み出せるのでは、と考えたわけです。

現在、全国で多くの女性たちが活躍してくれています。シングルマザーもいれば、子育てが終わった人、子供が学校へ行っている間の隙間時間に仕事をしている人もいます。入居前点検など短時間で完了する業務もあるので、それぞれのライフスタイルに合わせて働いてもらっています。

編集部 女性活躍推進も意図した起業だったわけですね。

池田 実は「働きたいが事務職はやりたくない」「こういう世界があるとは知らなかった」という人が多いんです。

当社の仕事は、マンションやアパートの入居前調査や点検、清掃、鍵交換、インターホン交換などが中心です。しっかり研修を受けてもらって技術を身に付けてもらったあとは、一人親方というような位置付けで働けます。1件ごとの成果報酬なので収入的にはかなりいい。働く女性たちから「生活がガラッと変わった」「安定した生活が送れるようになった」との声が上がっていると耳にしたときは感動しました。

編集部 技術を身に付けるのは大変で

はないですか？

池田 YouTubeで見られる研修動画も用意していますし、現場でわからないことがあればスマホのテレビ電話などを使って、研修センターや作業の責任者に連絡を取りながら解決できます。案件が多いので日々成長できます。2か月くらいで独り立ちされている人が多いですね。

賃貸住宅管理業界の人材不足を解消する画期的な存在に

編集部 きっちり研修をして品質の高いサービスを提供している。だから依頼も増え続けている、と。

池田 お客様には喜んでいただけています。管理会社のみなさんも大変なんです。賃貸住宅の多くは契約から入居までに時間がない。短期間で清掃もリフォームもメンテナンスも行わなくてはならない。リフォームが終わって入居前点検をするときには、翌日にはもう鍵の引き渡しというような状態です。

それを全て管理会社でやっているところに行き届かないところも出てきて、入居後のクレームにつながりやすい。一方、当社では1時間半くらいかけて



鍵交換も取り扱うため従業員の身元はしっかりしており技術も確か。安心して利用できるため、今では46都府県に事業が広がっている

じっくり点検をするので問題を見落とさずに対応できる。クレームが一気に改善されていきます。

編集部 管理会社からすれば御社にアウトソーシングすれば安心だと。

池田 そこは自信があります。そもそも鍵交換の仕事は女性に向いているんですよね。女性が担当したとなるとお客様の安心感が違う。掃除にしても見えている範囲が広いといいますが、いいサービスを提供できていると思います。もちろん電球交換など男性の方がやりやすい仕事も多いですから、男性にも活躍していただいています。

何よりハートリビングの専門技術を生かせるのが強みです。何か不具合があったら、すぐにハートリビングの方で手配ができる。それに、当社はハートリビング100%出資の会社ではなく、リフォーム会社や鍵交換の会社など、携わっている企業の出資によってできた会社。何かあってもスピーディーに対応できます。

ちょっとおもしろいのは、株主さまの中には、自社よりも当社の仕事に力を入れてくださる方も多いこと。なぜかという、働いている女性たちが、それはもう、ものすごくがんばっているからなんです。

私自身、シングルマザーの経験があるのでわかるのですが、「子供を食わせる必要があれば」という女性の本能的な力はすごいんですよ。会社側から「もうそこまでなくていいよ」といっても、絶対にその仕事を完結させる、との強い責任感を発揮する。その働きぶりを見ていると、周りも「がんばらなければ」となりますし、会社としては、途切れずに仕事を出していける仕組みにしなければ、と奮い立ちます。

実際、インターホンなどの小物や宅配ボックスの工事、設計など、いろいろな設備に関する仕事があります。そういう技術を女性が身に付けて、仕事にできたらいい。選べるようにもっと仕事を取っていきたいと思います。

とはいえ、こうした仕事があることをまだまだご存じない人も多いと思いますので、今はメディアも積極的に活用して広めているところです。

私はこの先5年、10年の間には「リアライズ食堂」という子供食堂を作りたいし、塾もつくりたいと考えています。また、障がいがある子供のお母さんがなかなか働けないという現状があるので、子供と一緒に働けるようにできないかと、当社が入って動いているプロジェクトもあります。賛同してくださる企業さまはとて多いです。

兼業のススメ！ 視野を広げると 仕事はおもしろくなる

編集部 SDGsへの取り組みとして4つの目標を掲げておられますね。「1 貧困をなくそう」「4 質の高い教育をみんなに」「5 ジェンダー平等を実現しよう」「8 働きがいも経済成長も」。特に5を実現されていると感じるのですが、女性が働きやすい職場は、いかにして実現していけばいいのでしょうか？

池田 子育て中の女性でいえば、まず子供を見てもらえる環境がないと難しいですね。ハートリビングでは幼稚園、保育園に掛かる費用の一部を会社が負担し、急に子供を迎えに行かなくてはならなくなっても、「すみません」ではなく当たり前に戻ることでできる環境を整えています。



雇用機会において男女は平等じゃないんですよ。産休という制度があるということからしてそれは明らか。女性は子供を産むときにどうしたって休まなければならない。その後、職場に復帰できるかどうかは大きな問題です。他方、会社としても中小企業などはポジションをあけておくにも限界がある。そういうところでの改善、見直しは必要なのかな、と思っています。

編集部 まずは会社の理解が必要ですね。最後に総務部門に向けてメッセージをお願いします。

池田 今、当社でも評価制度を整えているところなのですが、総務というのはポイントの付け方が難しいですね。営業なら売り上げなどに対してポイントを加算できますが、バックヤード系は100点が当たり前。できて当然。だからこそ仕事の仕組み作りがすごく大切だなとあらためて思っています。

ただ、私は今、ハートリビングのバックヤードを離れていることが多いのですが、責任者がいないと若い人は育つのが早い。というか、より強くなる。支払いなど、絶対に間違えてはい

けない重要なところは十分にわかっている、一日に何度でも確認を入れてくれます。

ハートリビングでは総務と経理は兼業なんです。私自身が兼業していますし、一つの部署だけだと見ている世界が狭くなってしまっているので、違う部署も見えるようにしておきたい。視野を広げることは、やはりおもしろいからです。

私もこの会社を立ち上げさせてもらって、いろいろな人たちとかかわって、違う物の見方もできるようになって、本当によかった。だからこそ自分の部下たちにもそういうことをさせてあげたい。正解はわかりませんが、総務という総合の事務、という意味でいえば、いろいろなことに携わって視野を広げてもらえたらと思っています。👉

池田 礼子 (いけだ れいこ)

1972年大阪府大阪市生まれ。2007年ハートリビングサポート株式会社入社。事務や経理などバックヤード領域を担当。2019年に会社初の女性常務取締役就任（現任）。2022年2月株式会社Realizeを立ち上げ、代表取締役就任（現任）。同年7月一般社団法人ハートフルファミリーと提携し、シングルマザー＆ファザーに仕事を提供できる体制づくりを進めている。3児の母。